

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法を採用している。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用している。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法によっている。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建 物	7 ～ 35年
車 両 運 搬 具	3 ～ 5年
什 器 備 品	2 ～ 20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用している。なお、財団法人利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間（5年）に基づいている。

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金 … 従業員の職員賞与に備えるため、当事業年度に帰属する支給見込額について計上している。

退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(6) 税効果会計の適用について

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
決済用預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	615,282,940	37,994,400	58,656,970	594,620,370
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	0	65,000,000
減価償却引当資産	179,485,000	5,100,000	6,422,000	178,163,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	0	355,000,000
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	0	17,800,000
競技スポーツ普及促進積立資産	46,419,248	0	13,000,000	33,419,248
小 計	1,288,987,188	43,094,400	78,078,970	1,254,002,618
合 計	1,308,987,188	43,094,400	78,078,970	1,274,002,618

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0	0
小 計	20,000,000	20,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	594,620,370	0	0	615,282,940
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	65,000,000	0
減価償却引当資産	178,163,000	0	179,485,000	0
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	33,419,248	0	33,419,248	0
小 計	1,254,002,618	0	660,704,248	615,282,940
合 計	1,274,002,618	20,000,000	660,704,248	615,282,940

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,189,305	7,296,479	3,892,826
車両運搬具	30,321,491	30,321,478	13
什器備品	187,306,592	153,161,091	34,145,501
ソフトウェア	122,668,387	94,879,522	25,478,865
リース資産	36,451,962	5,709,482	30,742,480
合 計	387,937,737	291,368,052	94,259,685

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

8. 保証債務等の偶発債務

なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
退職給付引当 投資有価証券			
(北海道公募公債r6-10)	100,000,000	98,540,000	△ 1,460,000
(札幌市公募公債r6-9)	100,000,000	99,010,000	△ 990,000
(NOMURA EUROPE FINACE N.V)	50,000,000	41,990,000	△ 8,010,000
減価償却引当 投資有価証券			
(札幌市公募公債r5-8-3)	10,000,000	9,691,530	△ 308,470
合 計	260,000,000	249,231,530	△ 10,768,470

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
第49回札幌マラソン	札幌市	0	17,000,000	17,000,000	0	
第45回札幌国際スキーマラソン大会	〃	0	11,610,000	11,610,000	0	
第47回北海道を歩こう	〃	0	810,000	810,000	0	
令和6年度さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業	〃	0	13,000,000	13,000,000	0	
令和6年度第65回札幌市民スポーツ大会事業	〃	0	8,423,000	8,423,000	0	
令和6年度競技力育成強化・普及促進事業	〃	0	14,032,000	14,032,000	0	
令和6年度さっぽろアスリートサポート事業	〃	0	15,000,000	15,000,000	0	
令和6年度札幌市スポーツ少年団運営事業	〃	0	600,000	600,000	0	
さっぽろグローバルスポーツコミッション運営費	〃	0	28,000,000	28,000,000	0	
令和6年度スノーベースタウンSAPPORO促進事業(JZK)	〃	0	12,440,075	12,440,075	0	
地域観光新発見事業(JZK)	観光庁	0	11,999,000	11,999,000	0	
令和6年度地域づくり総合交付金(ナイトクロカン)	北海道石狩振興局	0	2,500,000	2,500,000	0	
令和5年度地方体育・スポーツ協会連絡協議会助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会	0	50,000	50,000	0	
令和6年度北海道スポーツ少年団組織整備強化事業助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団	0	500,000	500,000	0	
さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業助成金	公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団	0	800,000	800,000	0	
リレーマラソン2024助成金	(独)日本スポーツ振興センター	0	2,880,000	2,880,000	0	
合 計		0	139,644,075	139,644,075	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	13,921,731
目的達成による指定解除額	
合 計	13,921,731

12. 関連当事者との取引の内容

(単位:円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	決議権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員等の兼務等	事実上の関係				
当該法人を支配する法人	札幌市	札幌市中央区北2条西1丁目	—	地方公共団体	—	—	出資団体	施設管理運営に係る指定管理料等	2,354,523,192	未収金	790,054,006
								事業補助金	120,915,075	—	—
								学校開放事業、運動・健診事業委託料等	387,261,221	未収金	93,059,328

13. 重要な後発事象

なし

14. その他

(1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

各施設における券売機及び複合機等である。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務に関する事項(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

①退職給付債務	594,620,370
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	594,620,370

③ 退職給付費用に関する事項(自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日)

(単位:円)

①勤務費用	49,086,330
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付費用(①+②)	49,086,330

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として、計算している。

⑤ 会計基準変更時差異の処理年数 1年

⑥ 過去勤務債務の額の処理年数 1年

(3) 税効果会計関係

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主原因別の内訳

(単位:円)

繰延資産損金算入限度超過額	1,984,697
未払事業所税否認	4,746,134
未払事業税	0
賞与引当金	24,056,201
一括償却資産	4,049,350
退職給付引当金繰入金超過額	109,466,418
繰延税金資産計	144,302,800
評価性引当額	△ 144,302,800
繰延税金資産 合計	0

② 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位:円)

	非収益事業	収益事業	合 計
税引前当期一般正味財産増減額 (A)	148,202,934	△ 154,119,280	△ 5,916,346
寄付金損金算入限度額 (B)	0	0	0
小 計 (C) = (A) + (B)	148,202,934	△ 154,119,280	△ 5,916,346
法人税、住民税及び事業税 (D)	0	520,000	520,000
法人税等調整額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (A) - (D) - (E)	148,202,934	△ 154,639,280	△ 6,436,346

③ 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

税引前当期一般正味財産増減額がマイナスとなっているため記載を省略いたします。